

教科名	芸術科	単位数	2単位	担当者	島 寄 英 司
科目名	書道 I	年次	1年次		
使用教科書 副教材等	教育出版社『書道 I』				
1 学習の到達目標（育成すべき資質・能力）					
<ul style="list-style-type: none"> ・書写の学習を通して学んだことを基礎に、書の諸表現を愛好することのできる心を養うことができる。 ・書的美を構成する要素を認知し、自己の表現において、学んだことを応用したり修正したりできる。 ・書の学習を通して培った感性により、自らの発想を一枚の作品としてまとめることができる。 ・日本・中国における書の伝統や文化を知り、書的美しさ・すばらしさを味わい、楽しむことができる。 					
2 学習の評価（評価規準と評価方法）					
観点	a. 知識及び技能	b. 思考力,判断力,表現力等	c. 主体的に学習に取り組む態度		
観 点 の 趣 旨	時代的な背景や気候風土の違い等から、書の古典に興味関心を持ち、表現上の特徴に着目し、自らの筆線に取り込むための努力や工夫する姿勢を観る。	文字の意味、また文意や運筆リズム、イメージ等を考慮した線・造形・紙面の構成等が工夫されているかどうかを観る。	用具用材の選択・取り扱い、発想力・着想力など、授業中におけるさまざまな発言や取り組む姿勢等から、度合いを押し量り観ていく。		
主 た る 評 価 方 法	授業中の学習に対する姿勢や提出課題等の内容から、総合的に評価する。	授業中の学習に対する姿勢や提出課題等の内容から、総合的に評価する。	授業中の学習に対する姿勢や提出課題等の内容から、総合的に評価する。		
占 め る 割 合	40%	40%	20%		
3 学習の目標と振り返り					
	《目 標》 ～何ができるようになりたいか具体的に～		《振り返り》 ～学習の振り返りと今後の課題～		
前 期			【達成できた・一部達成できた・達成できなかった】		
後 期			【達成できた・一部達成できた・達成できなかった】		

4 学習の内容						
学期	学習内容 (単元)	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
		a	b	c		
前期	ガイダンス			○	用具・用材についての理解ができたか。 書の美についての観点が理解できたか。	授業の姿勢・取り組みを観察
	篆刻	○	○	○	用具・用材を適切に用いているか。 方寸の世界に名前をどうまとめるか。	行動の観察 提出課題の評価
	楷書のいろいろ① ・九成宮醜泉銘 ・孔子廟堂碑 ・鄭羲下碑 ・造像記	○	○	○	ねらいをしっかりと持ち練習できているか。 書の古典がそれぞれ持っている特徴の違いを発見し、用筆法を変えて書き分けているか。	行動の観察 提出課題の評価 行動・提出課題の評価 提出作品の評価
後期	行書のいろいろ ・蘭亭序 ・風信帖 ・争坐位稿	○	○	○	行書の運筆リズムに着目できているか。 書の古典がそれぞれ持っている特徴の違いを発見し、用筆法を変えて書き分けているか。	行動の観察 提出作品の評価
	漢字仮名交じりの書(創作) 半切1/2サイズ	○	○	○	意欲的に自己表現を試みているか。 既成概念に縛られず自分らしさを持った表現ができたか。	行動・線の観察 提出課題の評価
	刻字(漢字創作)	○	○	○	石膏ボードを活かし、作品制作が楽しめたか	行動・線の観察 提出課題の評価
	仮名 ・いろは歌 ・連綿 ・変体かな ・散らし書き	○	○	○	小筆の筆致を楽しめているか。 仮名の流動美が表現できたか	行動・提出課題の評価 提出作品の評価